

令和5年度 旭地区わくわく事業 実績報告書

令和5年度にわくわく事業に取り組んだ13団体の皆さんの活動内容をお知らせします。
皆さんの1年間の活動成果をご覧ください。

事業名	団体名	頁
森は私たちを育て いつかは田舎へ事業	あさひガキ大将養成委員会	1
旭の木を使おまい事業	旭もくもく会	
地域減災啓発事業	旭GS（減災）ボランティア	2
林育推進事業	あさひ根っ子の会	
防災アクションプロジェクト事業	あさひ防災アクションプロジェクト	3
太田町民の憩いの場づくり	太田に陽だまりプロジェクト	
しきしま重点プロジェクト推進事業	しきしま重点プロジェクト推進チーム	4
地域性を活かした景観向上事業	惣田花樹の会	
地域の施設と特色を活かした、魅力ある子育て環境整備事業	みんなのしきしまプレーパーク	5
広畑さとやまプロジェクト	広畑さとやまプロジェクト	
旭中サンライズプロジェクト事業	旭中サンライズプロジェクト	6
持続可能な農村モデルづくり事業	歴史と自然豊かな押井づくりの会	
旭の和紙復活事業	旭で和紙づくり	7

※事業目的・事業成果の記載内容は、各団体からの申請内容を一部修正させていただいて掲載しています。

あさひがき大将養成委員会
「森は私たちが育て
いつかは田舎へ事業」

【事業目的】

● 田舎の自然を直接体験し、その良さに気づくことにより田舎志向の思いを育み、結果として将来の旭地域や中山間地域への移住や交流人口の増加を図る。

● 子育て環境の充実、子どもの居場所づくり

【事業成果】

● 活動の主要目標である定住促進については、移住の相談件数が増加し会員の中から1家族の敷島地区への移住が、また農地の借り受けの実績があり農地の保全ができた。

● 活動に参加した子ども及び保護者から子どもの自主性や挑戦する気持ちが目に見えてきたと評価をいただいた。

● 今後はさらにひとりひとりの異なる課題に寄り添って行くことが大切である。

【補助金交付額】

1,000,000円



ツリーハウス完成

旭もくもく会
「旭の木を使おまい事業」

【事業目的】

● 旭地区にある豊富な森林資源及び人的資源を活用し、旭産木材による木質化を推進することで特有の街並み景観を作り、観光拠点として地域活性化を図る。

● 森林の循環的維持を通じてSDGsの目標「陸の豊かさを守ろう」に貢献する。

【事業成果】

● ベンチ設置により旭の人々に旭の木を使うことをPRできた。

● 木製フレームを利用することで観光資源の認知度アップにつなげることが期待できる。

【補助金交付額】

524,000円



観光スポットに設置できるフレームを製作



愛知学泉大学の皆さんとベンチづくり

旭GS(減災)ボランティア
「地域減災啓発事業」

【事業目的】

● 将来起こりうると思われる大規模地震、大雨による土砂災害にいかにして備えるか、被害を最小限に食い止めるかを考え、いかに行動するかを発信していく。

【事業成果】

- 小原豪雨の現地視察は、50年前の災害といえども当時のことが現実味のあるものとして理解でき、有意義だった。
- 研修会では楽しみながら減災活動が実践できた。

【補助金交付額】

34,000円



テント設営体験



空き缶を利用した吹き出し訓練

あさひ根っ子の会
「林育推進事業」

【事業目的】

- こども園の園児、小渡、敷島両小学校の児童、旭中学校の生徒を対象に年間の保育計画、授業計画の中で体験学習を盛り込んだ育林活動の機会を用意し、森の持つ豊かさに触れ味わう機会を創出する。
- 地域住民に森林再生と森林資源活用の必要性を啓発する活動を行う。

【事業成果】

- 本年度はコロナ解禁もあって、特に集中して取り組みたい時期（9月から12月）に集中して要望があり、融通の利く本事業の必要性を十分発揮させることができた。
- 地域学習に取り組んでいる学校への単年度的な協力ではなく、もう少し長いスパンの後方支援を行うことができたと思う。

【補助金交付額】

328,000円



竹馬づくり体験

あさひ防災アクションプロジェクト 「防災アクションプロジェクト事業」

【事業目的】

● 災害につながる地域の前兆現象と危険に前もって気づくため、気象情報等を活用し、地域住民自らが日常の状態から災害時の状態に意識と行動を切り替えるタイミングを明確にし、危険になる前に自らの災害対応に結びつけるため、各自主防災会と合同で取り組む。

【事業成果】

● 自治区を始め、消防団、社会福祉協議会、民生児童委員などと連携し、それぞれが抱える災害リスク、課題などの対応策を共有しながら取り組んでいくため旭地区自主防災会連絡会を設立した。

● 令和4年度から取り組んでいる「雨量観測システム」の実証実験を行い、旭地域内全世帯にアンケートを実施、分析、防災ワークショップを開催し、学識経験者等と連携しながら住民の防災行動に対する意識を向上させるため、旭全域の取組としてまちあるき等による災害危険個所の把握を実施することとした。

【補助金交付額】

925,000円



ワークショップ

太田に陽だまりプロジェクト 「太田町民の憩いの場づくり」

【事業目的】

● 区民館前の山の雑木、竹林の伐採と人工林の間伐をしながら自然散策道を造成し、隣接する農村公園の活用も含め、太田町住民の憩いの場（散策を通して健康増進や住民同士の交流など）として、また、将来的には街の人たちとの交流の場になるようなイベントを企画し、利活用していきたい。

【事業成果】

● 10年来活用されず荒廃した農村公園（散策道入口）が伐採活動により見事に蘇り、明るくなった。更に、部分的に尾根までの竹林伐採が完遂出来たのは3年計画の初年度の取り組みとしては評価している。

【補助金交付額】

138,000円



竹の粉碎処理



裏山の確認

しきしま重点プロジェクト推進チーム
「しきしま重点プロジェクト推進事業」

【事業目的】

●令和2年に策定した自治区将来ビジョン「しきしま・ときめきプラン2020」に定めた3つの重点プロジェクト「支え合い社会創造」「農地保全」「未来への構造改革」を、目標年度である令和6年度までに大きく前進させ、自治先進モデルを構築する。もって子どもから高齢者まで誰もが安心して幸せに暮らせる地域社会を実現する。

【事業成果】

- しきしまの家の利用環境を整備し、5,000人余に利用いただいた。
- 地域共生社会推進全国サミットに参加するなど注目を集めた。
- 支え合いシステムは、課題解決や中学生による商品開発に発展した。
- デジタルアーカイブにより、貴重な古文書を永久保存できた。

【補助金交付額】

1,000,000円



中間報告会

惣田花樹の会
「地域性を活かした景観向上事業」

【事業目的】

●町内転入者及びボランティア団体の協力を得ながら花による景観向上と地域の活性化を目指し魅力ある街となることを目的とする。

【事業成果】

- 会員同士の事業に関わる活力が向上してきた。
- トヨタ旭ボランティア七森会との交流が深まり作業能率が向上した。

【補助金交付額】

163,000円



植栽場所の開墾作業



しだれ桃の植え付け作業

みんなのしきしまプレーパーク
「地域の施設と特色を活かした、
魅力ある子育て環境整備事業」

【事業目的】

●プレーパークとは、子どもたちが自分の責任でとことん自由に遊び、学校や日々の暮らしのなかでは得られない「挑戦」「成功」「失敗」「あそい」「危険」「協力」等の体験という成長の機会を得られる場で、併催するマナビパークは親も対象にした講習やワークショップ、映画上映など課題をもって取り組む企画で、情報発信や交流の活性化を目的としている。

【事業成果】

●令和5年度の活動を通じ、地域内外に向け幅広く活動をPRし、市街地域と旭地区の子育て家庭の交流を図ることができた。
●農作や動物とのふれあいなど、本地域ならではの特色ある活動を取り入れ、協力する団体、個人を地域の「子育て力」を魅力として見える化し発信することができた。

【補助金交付額】

55,000円



流しそうめんを楽しみました。

広畑さとやまプロジェクト
「広畑さとやまプロジェクト」

【事業目的】

●山の手入れが行き届かなくなっており、付近の景観や日当たりも悪くなっている。さらには土砂崩れ等災害にもつながる。
そこで、間伐や伐採をし、景観や日当たりをよくするとともに身近な山を公園等整備することで山を守る必要性を住民に理解してほしい。伐採した付近を公園として整備することで日当たりもよくなり、より過ごしやすい町にしたい。

【事業成果】

●日の当たり始めが早くなった場所もあり、省エネ効果が数値化できると効果が具体的になる。
●山道の整備ができ、より安全に行き来や作業がしやすくなった。
●太陽の動きを確認し、次年度の作業場所の計画を立てることができた。
●切り株をテーブルにし、伐採木をいすにするなど簡易な整備ができた。

【補助金交付額】

1,000,000円



山頂で間伐材を利用してベンチを製作

旭中サンライズプロジェクト 「旭中サンライズプロジェクト事業」

【事業目的】

● 旭をふるさととする旭中学校の生徒が、仲間や地域の人々と共働しながら課題を解決するために、旭中学校の教育課程での学びを生かし、地域の活性化を目指し活動することを目的とする。

【事業成果】

● 旭地区の間伐材について広報活動を行うことができた。様々なイベントに出店することで旭の地域の方とも交流を深めることができた。
● 来年度はハラペーニョを使って地域活性化を目指していきたい。

【補助金交付額】

649,000円



イベントに参加してPRを行いました。

歴史と自然豊かな押井づくりの会 「持続可能な農村モデルづくり事業」

【事業目的】

● 押井町内の貴重な歴史資源と周辺の豊かな自然環境を守り、関係人口となる人々の助けを活かし、ともに作る持続可能な農村モデルを探求する。

【事業成果】

● 沼地化していた普賢院庭園東エリア整備はワークショップ形式にしたことにより、新たな関係人口を創出することができた。
● イベント告知をチラシからホームページへと変更したことにより、より新規関係人口へのアプローチを強化することができた。
● ふるさとアーカイブ事業（自然）では昆虫調査をメインに調査した。自然観察会は、楽しみにしてくれている参加者もあり、関係人口創出にも効果が出てきている。昆虫は種類も多く観察できる機会も限られてしまうため十分とは言えないが、令和6年度の3年目でひとまず区切りとしたい。

【補助金交付額】

823,000円



ふるさとアーカイブ（自然観察会）

旭で和紙づくり 「旭の和紙復活事業」

【事業目的】

- 愛知県で初めて紙漉きがされたと言われる旭地区で和紙づくりの復活と次世代の人たち（子どもたち）に紙漉きの継承をする。

【事業成果】

- 和紙講座、和紙講演会で少しずつではありますが和紙のことをより多くの方に知っていただくことができ、今後活動拠点整備に重点を置いて活動を行いたい。

【補助金交付額】

160,000円



ワークショップ



和紙講演会

令和6年度は17団体が活動

わくわく事業は、皆さんの手で直接旭地域の課題解決や活性化につながる取組を申請していただき、同じわくわく事業申請団体などによる相互審査により、活動が認められた場合に市から補助金が交付されます。

令和6年度は以下の皆さんがわくわく事業の補助を受けて活動をされます。

- 旭中サンライズプロジェクト
- しきしま重点プロジェクト推進チーム
- 旭もくもく会
- 太田に陽だまりプロジェクト
- 小渡打囃子保存会オイサーおど
- 笹戸観光振興会
- 旭で和紙づくり
- あそびまNAVI
- 幸せの黄色いハンカチ運動の会
- 惣田花樹の会
- あさひ根っ子の会
- 旭地区自主防災連絡会
- 歴史と自然豊かな押井づくりの会
- しきしまときめきプラン策定委員会
- 広畑さとやまプロジェクト
- あさひビーフォレストプロジェクト
- 浅谷蕎麦倶楽部

わくわく事業に興味のある方は、旭支所・地域振興担当までお問い合わせください。

電話 0565 (68) 2211

Eメール asahi-shisho@city.toyota.aichi.jp

